

2025 年度

学生協働支援隊 三永地域

デジタルマップの作成

1. 背景と目的

これまで三永地域では、役員などの引継ぎの際に、新しく役員になる方がどこまでが自分の自治会の範囲なのか分からず、戸惑ったり引継ぎがスムーズにいきなかった。

そこで 2025 年度は、ゼンリン社製のデジタル基本図（電子住宅地図デジタウン 東広島市 202404-202504）を活用し、区域図をデジタル化する取り組みを学生協働支援隊と一緒に開始した。

デジタルマップは、引継ぎ時の負担軽減や、地域の現状をより正確に把握するための基盤となる。

学生協働支援隊が得意とするデジタル機器や地図操作スキルを生かし、地域の情報資源を整理する。引継ぎの際に、区域や班の範囲、管理するゴミステーションの場所を可視化することで、引継ぎをスムーズにする。

2. 実施概要

時期・日時	内容	メモ
7～9 月	白地図への区割り・班・ゴミステーション位置のプロット	地域で紙の白地図を用いて情報を書き込み
10 月 8 日～30 日	地図データ入力・全体地図印刷	学生協働支援隊がデジタルマップへ入力し、確認用の全体地図を印刷
11 月 12 日	印刷したデジタル地図を地域へ提供	内容確認用として配布
11 月 18 日	修正用地図データの紙出力	修正箇所を書き込むための資料を準備
11 月下旬～12 月	地域での地図確認・修正追記	各地域で内容を確認し、必要な修正を記入
1 月 7 日	区ごとに印刷した地図データを地域へ提供	最終版に近い形で配布
1 月（随時）	修正作業	追加・変更点を反映し、地図データを更新
2 月 10 日	納品・操作説明	今後地域で更新や修正に対応していけるように、操作方法を伝えた。

3. 実施結果

写真 作業の様子 : <https://photos.app.goo.gl/gcX5vUKoMqkLujc7A>

4. 今後に向けて

今後は地域でデジタルマップを更新し続け、引継ぎの際の資料や災害時の対応など地域のことを検討する際の資料として活用する。

【地図データ入力作業】

【日時】令和7年10月8日～30日

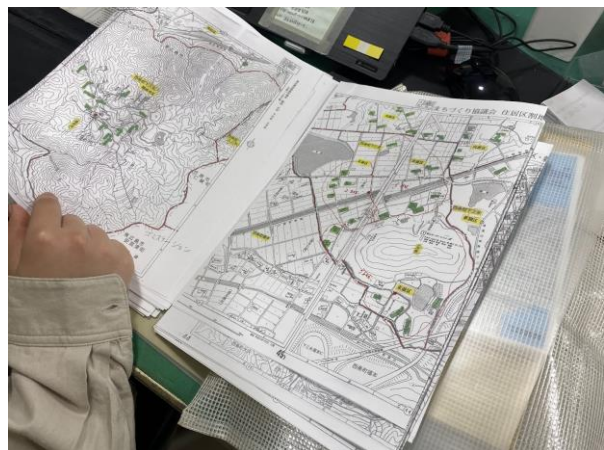
【場所】市民協働センター

【参加者】合計3名（学生1名、コーディネーター1名、地域1名）

【内容】

● 実施内容

印刷された地図に記入していただいた情報をもとに、学生が自治会班の区分けやゴミステーションの位置などの地域情報をデジタル上に反映する作業を行った。



・ 今後に向けて

地域の方に確認しないといけない箇所が複数あったため、一度現状を確認してもらい、新しく情報を更新してから再びデジタル情報の修正作業を実施する。

【当日の感想】

- ・ 地道な作業でとても大変だったが、デジタルマップ作業を続けていくことで次第に効率的に作業が進むようになった。
- ・ 地域の方が用意して下さった地図だと一部情報が不十分な箇所があった。おそらくゼンリンの地図と地域の方の地図に反映されている情報の新しさが違うと思われる。また、印刷の具合によって家の名前が全く読み取れず、それによって反映作業がかなり難航したため、今後はコーディネーターや学生側が一度ゼンリンの地図を印刷して線引き作業をお願いする方が良いと感じた。

【データ渡し・確認作業】

【日時】2025 年 11 月 12 日（水）10:30～12:00

【場所】三永地域センター

【参加者】合計 4 名（コーディネーター2 名、地域 1 名、市 1 名）

【内容】

データ化した地図を 1/4,000 の縮尺で印刷し、そのつなぎ合わせた地図を三永まちづくり協議会に渡し、入力した内容を確認する作業を行った。



・ 今後に向けて

修正があった箇所のデータを変更していく。また地域側で確認してもらう際の紙データの用意を進める。各自治会（19 地区）ごとにそれぞれ 1/1,500 の縮尺サイズで印刷して、つなぎ合わせる作業を行い、地域の人たちが確認作業がしやすくなるように準備を行う。

【当日の感想】

デジタル化した地図を実際に広げて確認すると画面上では気づきにくい点も、紙で見ることで新たな修正が見つかり、確認作業の大切さを学んだ。より見やすい形で準備することの重要性も感じた。

【修正作業・確認データ印刷作業】

【日時】2025年11月16日（日） 10:30~12:00

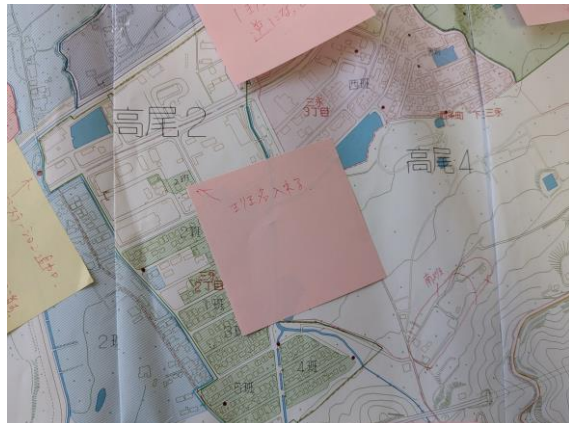
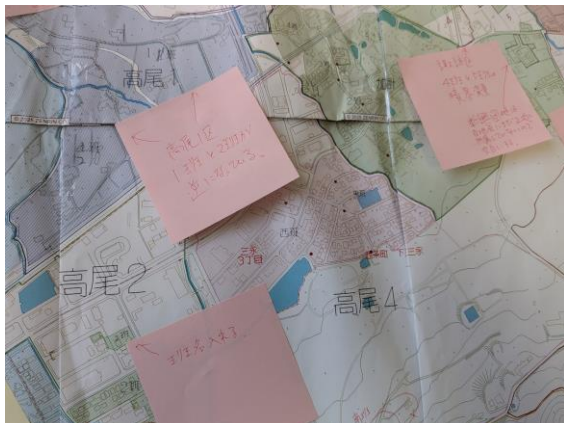
【場所】市民協働センター

【参加者】合計2名（学生1名、コーディネーター1名）

【内容】

地域からあった修正箇所を確認した。

データ化した地図を1/1,500の縮尺で印刷つなぎ合わせる作業を行った。



・ 今後に向けて

地域に渡し、各地域でデータを確認してもらう

【当日の感想】

地域から共有してもらった修正点を一つずつ確認しながらデータに反映する作業を行い、地図の精度が少しずつ高まっていくのを感じた。印刷した地図をつなぎ合わせる作業では、地域の広さや情報量の多さを実感し、この地図が現場で役立つものになってほしいと思った。

【修正作業・地図印刷・データ渡し】

【日時】2026年1月7日（水）

【場所】市民協働センター

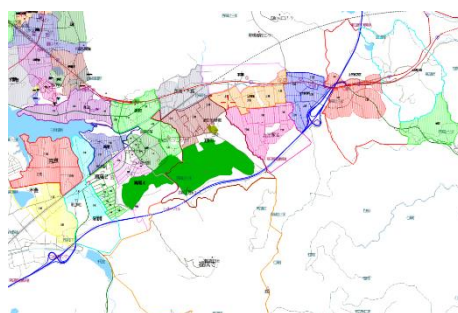
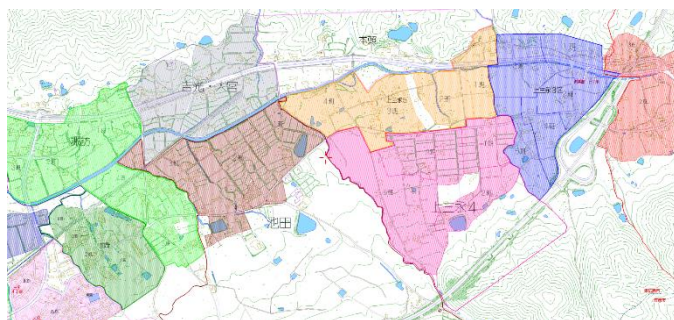
【参加者】合計2名（学生1名、コーディネーター1名）

【内容】

地域からあった修正箇所を確認した。データ化した地図を区ごとに A3 サイズに収まる形で印刷した。

・今後に向けて

地域では、区長の引継ぎの際に、今回作成したデジタルマップを資料として引き継いでいく。随時地域の状況の変化を反映させながら活用していき、必要に応じて学生協働支援隊や協働センターでも修正作業のサポートをしていく。



【デジタルマップデータのお渡し・操作説明】

【日時】2026年2月10日（火）10:00

【場所】三永地域センター

【参加者】合計3名（コーディネーター1名、地域2名）

【内容】

学生協働支援隊員が作成したデジタルマップを、地域にお渡しした。

今後修正や地図の印刷を地域でできるように、修正方法や地図への書き込み方法、削除の操作方法などを伝えた。今後は地域で地図の修正や追記を行っていき、必要に応じて学生協働支援隊やコーディネーターが支援を行う。

【当日の感想】

地図を実際に印刷して渡すところまで進められたことで、活動が一つ形になったと感じた。データが引継ぎ資料として使われると知り、自分たちの作業がこれからの地域運営に関わっていく責任も実感した。